環境保全協定に基づく「環境保全報告書」

令和7年度環境保全報告書　　シスメックス株式会社

①当該年度の重点取組目標・計画の実施状況

ア. 地球温暖化対策【温室効果ガスの抑制】

●温室効果ガス排出量の削減

2025 年度は、一部フロアの LED 照明への切り替えを重点取組目標として掲げ、取り組みました。

エネルギー使用量の結果としては、電力使用量は対前年度比 99.4%、ガス使用量は対前年度比 89.0%となりました。

電力使用量は、LED 照明への切り替えにより減少した一方、ガス式空調の運用を減らしたことに伴い電気式空調の電力使用が増加したため、全体としてはわずかな減少にとどまりました。ガス使用量については、ガス式空調の運転を減らしたことにより前年度比で 11%減少しました。

その結果、CO2 排出量については対前年度比 83.8%の 27,429 kg-CO2/kwh となりました。

2023 年 4 月 1 日より再生可能エネルギー由来電力の導入を開始し、2024 年 8 月には厚生施設を含めすべて再生可能エネルギー電力へ切り替えが完了し、排出源はガス使用に限定されております。

なお、排出係数は、都市ガス 2.3085（0.0499×45）を使用しています。

項目		（前年度） 2024 年度	（今年度） 2025 年度	対前年度%
電力	使用量（ｋｗｈ）	2,612,173	2,598,873	99.4
ガス	使用量　（㎥）	13,722	12,215	89.0
CO2	排出量 (kg-CO2/kwh)	32,707	27,429	83.8

●資源循環の推進

廃棄物を分別し、分別内容に応じた廃棄物処理業者への処理委託により、リサイクルの推進を図りました。

結果として、一般廃棄物、産業廃棄物、特別管理産業廃棄物のリサイクル率は 99.6%となりました。また、金属くずや当社機器などの混合廃棄物の有価物化を推進したことにより、廃棄物量が 73.9%となりました。

2025 年度の目標である総廃棄物量 5%削減（基準年度 2022 年度 54.51ton）に対し、50%の削減となりました。

項目		（前年度） 2024 年度	（今年度） 2025 年度	前年比％
一般廃棄物	廃棄量（ton）	21.69	13.77	63.4
	リサイクル量（ton）	21.69	13.77	63.4
	リサイクル率（％）	100	100	－
産業廃棄物	廃棄量（ton）	12.27	10.93	89.8
	リサイクル量（ton）	12.17	10.87	89.3
	リサイクル率（％）	99.2	99.0	－
特別管理産業廃棄物	廃棄量（ton）	2.8	2.49	88.9
	リサイクル量（ton）	2.78	2.46	88.4
	リサイクル率（％）	99.3	98.7	－
合計	廃棄量（ton）	36.76	27.2	73.9
	リサイクル量（ton）	36.64	27.11	73.9
	リサイクル率（％）	99.7	99.6	－

②公害防止対策に係る報告

ア．目標達成状況と目標達成のために講じた措置・対策

目　標　項　目			目標達成状況	目標達成のために講じた措置・対策
水質汚濁防止対策	**（有害物質（＊）を使用している場合）**			
		◆法令に規定の順守	◆規定順守を継続	◆法令対象物質の棚卸
		◆管理目標値の順守	◆管理目標値未満で推移	◆有害物質を含む排水をポリタンク等に貯留し、廃棄物業者へ処理を委託
		◆排出規制がない有害物質の使用量及び排出量の把握と排出削減推進	◆労働安全衛生法に基づく化学物質リスクアセスメントにより使用状況を把握	◆同左

		◆窒素及び燐の総排出量の削減の推進 ◆有害物質等による地下水汚染の未然防止及び拡散防止の推進	◆管理目標値未満で推移 ◆地下浸透なし	◆有害物質を含む排水をポリタンク等に貯留し、廃棄物業者へ処理を委託 ◆下水道以外からの排出なし 特定施設の定期点検の実施
産業廃棄物対策		◆法令に基づく廃棄物の適正処理	◆法令に規定される処理方法に従い処理	◆廃棄物を分別し、分別内容に応じた廃棄物処理業者へ処理を委託

イ．2025 年度　排出水の汚濁状態測定結果

項目			管理目標値	全測定回数	目標値を超過した測定回数	目標値達成判定	法令基準達成判定
人の健康に係わる被害を生ずる恐れのある項目	1	シアン化合物	0.3 以下（ｼｱﾝ換算）	2 回/月	0	○	○
	2	鉛及びその化合物	0.1 以下(鉛換算)	同上	同上	○	○
	3	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	0.005 以下（水銀換算）	同上	同上	○	○
	4	ほう素及びその化合物	0.005 以下（水銀換算）	同上	同上	○	○
生活環境に係わる被害を生ずる恐れのある項目	5	フェノール類	5 以下	1 回/月	同上	○	○
	6	銅及びその化合物	3 以下	同上	同上	○	○
	7	亜鉛及びその化合物	2 以下	同上	同上	○	○
	8	鉄及びその化合物（溶解性）	10 以下	同上	同上	○	○
	9	マンガン及びその化合物（溶解性）	10 以下	同上	同上	○	○
	10	クロム及びその化合物	2 以下	同上	同上	○	○
下水処理場に負荷をかける項目	11	水素イオン濃度（pH）	5 を超え 9 未満	同上	同上	○	○
	12	生物化学的酸素要求量（BOD）	2,000 以下	同上	同上	○	○
	13	浮遊物質量（SS）	2,000 以下	同上	同上	○	○
	14	ノルマルヘキサン抽出物含有量(動植物油脂類含有量)	150 以下	同上	同上	○	○
	15	ノルマルヘキサン抽出物含有量（鉱油類含有量）	5 以下	同上	同上	○	○
	16	窒素含有量	1,200 以下	同上	同上	○	○
	17	燐含有量	160 以下	同上	同上	○	○
施設を損傷する恐れのある項目	18	温度	45 度未満	同上	同上	○	○
	19	沃素消費量	220 以下	同上	同上	○	○
その他	20	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物		同上	同上	○	○

③地球温暖化対策に係る報告

ア．今年度における電気・燃料等の使用量、温室効果ガス排出量

活動の区分	燃料・焼却物等の種類	使用量等	単位	単位発熱量（MJ）	排出係数	排出量	温暖化係数	合計(CO_2換算)
					kg-CO_2/MJ	kg－CO_2	CO_2	
燃料の使用	原料炭		kg	28.9	0.0867		1	
	一般炭		kg	26.6	0.0906		1	
	A 重油		ℓ	39.1	0.0693		1	
	B 重油		ℓ	40.4	0.0705		1	
	C 重油		ℓ	41.7	0.0716		1	
	LPG		kg	50.2	0.0598		1	
	都市ガス	12,215	Nm^3	45.0	0.0499	27,429	1	27,429
	その他(廃棄物等)		kg	42.3	0.0762		1	
電気事業者から供給された電気の使用	一般電気事業者		kWh		0.419		1	
熱供給事業者から供給された熱の利用			MJ		0.067		1	
合計						27,429		27,429

イ．当該年度の計画達成状況

温室効果ガス	削減目標		排出量		削減率（%）	
	今年度(2025年度)	2030年度	基準年度(2013年度)	今年度(2025年度)	今年度(2025年度)	2030年度
二酸化炭素	32,000	25,000	2,000,000	27,429	99	99
メタン						
一酸化二窒素						
HFC						
PFC						
六フッ化硫黄						
合計						

ウ．目標達成のために講じた措置・対策の達成状況

	措置の区分	具体的対策	削減目標	実施状況
1	エネルギーの使用の合理化	＜都市ガス＞ ・都市ガス使用量の監視・分析	前年度以下	重点取組目標・計画の実施状況のとおり

④公害防止対策、地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る報告

今年度の環境保全活動に係る具体的実施内容

	分野	項目	目標	実施状況
1	水の使用	上水使用量及び地下水使用量の監視・分析	毎月実施	毎月実施
2	従業員教育	当社の環境活動計画に関する委託先への教育実施	9月に実施予定	教育実施完了
		緊急事態（排水・危険物燃料・薬品の漏洩及び紛失）の訓練実施	9月に実施予定	訓練実施完了
3	特定フロン等使用量の管理及び削減	法定点検の実施	定格出力に応じた点検実施	実施完了
		設備更新時、特定フロン非使用設備の導入	全量	全量
		特定フロン使用機器の適正廃棄	フロン回収の徹底	フロン回収の委託
4	廃棄物の適正処理	廃棄物の分別・回収	徹底	徹底
		廃棄量の監視・分析	毎月実施	毎月実施
		機密紙の再生運用および廃棄物の有価物化の施策の検討	年度内に施策決定・運用開始	機密紙の再生運用及び混合廃棄物（金属くず）の有価物化を継続
5	地域社会への参画	事業所周辺の清掃活動	年2回実施	年2回実施

以上